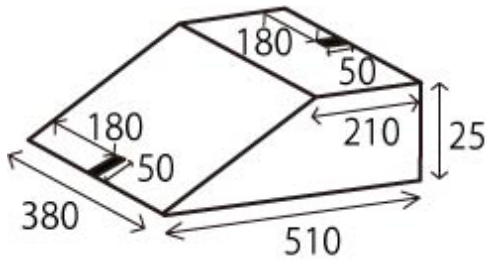


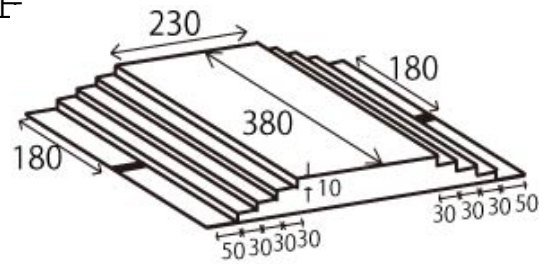


- 1) コートは  $2370\text{mm} \times 1150\text{mm}$  の大きさに、白色を基調としている。黒線は幅  $18\text{mm}$ 、黒丸の直径は  $100\text{mm}$ 。
- 2) スタートエリアとゴールエリアは  $400\text{mm} \times 370\text{mm}$  の大きさである。
- 3) 中央の壁は長さ  $1540\text{mm}$ 、高さ  $50\text{mm}$  の大きさ。三角柱は 2 辺が  $120\text{mm}$  の直角二等辺三角形で、高さは  $100\text{mm}$  の大きさ。
- 4) ゲートのような柱が 2 本ある。柱の直径は缶と同じサイズ。
- 5) A から F までの 6 つのゾーンがあり、 $510\text{mm} \times 380\text{mm}$  の大きさである。ゾーンには坂道やトンネルといった課題がある。ゾーンの障害物はイメージとして a) から g) に示す様なものである。障害物の詳細は競技会当日に発表される。

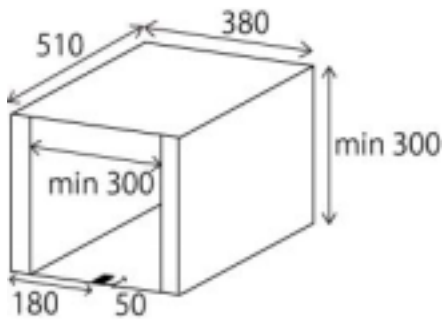
a) 坂道



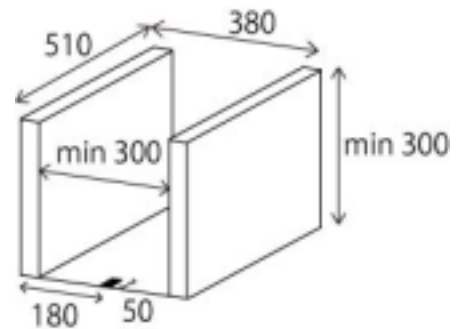
b) F



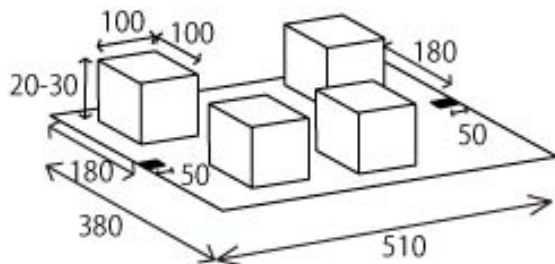
c) トンネル



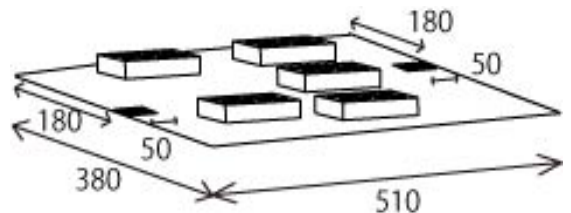
d) 狭い道



e) 沼地



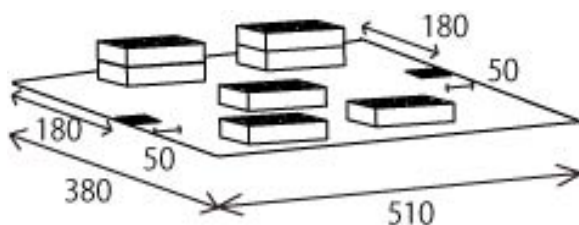
f) さざ波



スポンジの色は様々で、位置はランダムである。

ブロックは  $2 \times 4$  の高さ約  $11\text{mm}$ 。色は様々で、位置はランダムである。

g) 荒波



ブロックは  $2 \times 4$  の高さ約  $11\text{mm}$  の 5 つのブロックで構成されている。最大 2 段のブロック構成。色は様々で、位置はランダムである。

6) 障害物はコートに固定されている。

7) ターゲットは缶で、最大重量は  $345\text{g}$  である。缶の重さは大会当日 朝に発表される。

## 2. 競技ルール

- 1) 競技は2分間(120秒)でおこなう。
- 2) ロボットはスタートエリアからスタートする。スタート前にはロボットのどのパーツもスタートエリアから出てはいけない。
- 3) ロボットはスタートエリアからスタートし、ゲートを通過してターゲットにチャレンジする。途中6つのゾーンを通過し、再びゲートを通過してゴールエリア(=スタートエリア)に向かわなければならない。
- 4) ターゲットの落下順序は決められている。I II III。

落下させる順により得点が変わる。得点は以下の6種類となる。

30点

20点

20点

10点

10点

10点

- 5) ゾーン通過の順序は決められている。A B C D E F G。

### 6) 定義:

1. ゲート通過: ロボットの全てのパーツがゲートを通過すること。
2. 落下: ロボットは三角柱上からターゲットを落とすこと。
3. ゾーン通過: ロボットが侵入したゾーンの辺からその対辺へ抜けること。

## 3. 得点

ミッションポイントと時間ポイントがある。

### 1) ミッションポイント

- 1. ゲート通過ポイント(最初のみ) 10点
- 2. コーナのターゲットを倒す(3か所) 各10点
- 3. ゾーン通過ポイント(6か所) 各10点

### 2) 時間ポイント

スタートしてからゴールするまでのかかった時間(秒)をミッションタイムとして、競技時間(120秒)から引いたものを時間ポイントとする。ゲートを通過しなかった場合は0ポイントとなる。

時間ポイント = 120秒 - ミッションタイム

ロボットが競技を途中でリタイアや時間オーバーになった時は、完了しているミッションポイントが得点として与えられる。